

テーマ	DV防止教育、児童虐待防止教育 防災教育と災害後の心のケア		
ねらい	DV、児童虐待がなぜ起こるのかを学び、社会人になったときの望ましい人間関係の築き方を学ぶ。命をおびやかす暴力の連鎖を断ち切る。 自然災害を乗り越えたり、被害を最小限に食い止める試みをした実践を学ぶ。		
高等学校	指導のポイント	事前	事後
	<p>【感動の体験】 自分で自分の心と身体のセルフコントロールができる体験をさせる。 様々な災害を克服するために、人と人の絆が最も大きな力になっていたことを知らせる。</p> <p>【感性を育む】 暴力を受ける側の現実や被害に思いをはせ、暴力は微塵も許されるべきではないと感じとらせる。</p> <p>【想像力の育成】 暴力をふるう側が、「支配と権力」をよりどころにしていることを理解し、暴力に依存してしまう人間の心理を想像させる。 人間同士の絆によって困難を克服できることの強さを感じとらせる。</p>	<p>【先生の準備】 ・暴力（DVや虐待）に関する新聞記事や創作事例を用意する。 ・DVや虐待に関する法律を調べる。 ・振り込め詐欺や霊感商法といったマインドコントロールを利用した事件について調べる。 ・セルフリラクゼーションを教える練習をする。 ・職員会議、学年会議等で学習の目的を共通理解し、暴力に対する教員一人ひとりの考え方を伝え合う。 ・子どもの家庭環境やプライバシーに十分配慮し、事前事後の個別指導を充実させる。 ・家庭と連携をとり、学習や体験内容に配慮する。</p> <p>【教育課程上の位置づけ】 ・国語 ・公民 ・理科 ・特別活動 ・総合的な学習の時間</p> <p>【子どもたちの準備】 ・新聞記事でDVや虐待に関する記事を調べたり、書籍等でDVや虐待について調べたりする。</p> <p>【家庭・地域との連携】 ・学習の意義とねらいを伝え、暴力に対する担任の考えを伝える。 ・体罰や暴力に対する学校の取組や、暴力行為を行った場合の指導について通信や保護者会等とおして相互理解する。 ・高校生を標的にした犯罪事例を紹介する。 ・警察・民生委員・コンビニエンスストア等と定期的な情報交換をする。</p>	<p>【子どもたちの予想される心の動き】 ・これもDVなんだ。 ・虐待ってそういうことなんだ。 ・暴力は受ける側に問題があるわけではないんだ。 ・心や身体は自分でコントロールできるんだ。 ・自分にも「支配と権力」による行為があるかもしれない。</p> <p>【振り返りカードへの記入】 ・学習・体験の後に、子どもたちに自分の心の動きを振り返らせ、振り返りカードに記入させる。</p> <p>【日常生活での実践・家庭との連携】 ・日常生活の中でも簡単なセルフリラクゼーションを実践する。 ・学習内容と子どもの反応を通信や保護者会の場等で伝える。</p> <p>【先生の振り返り】 ・様々な暴力について理解し、望ましい人間関係を築こうとする態度を養えたか。 ・人間同士の絆によって困難を克服できることの強さを感じとらせることができたか。</p>
		<p>学習・体験</p> <p>調べ学習 ・DVや虐待等の社会問題を調べて発表する。 暴力防止 ・事例や話し合いをとおして、暴力について理解する。 セルフコントロールとアサーション・トレーニング ・心は他者からコントロールされるのではなく、自らコントロールできるという体験をする。 ・自分の気持ちをさわやかに伝えられる体験をする。 新聞記事、視聴覚教材による学習 DVや虐待に関する資料・ビデオ 啓発冊子『いのちのこえにみみをすまして・・・』 人権啓発ビデオ『新しい風』 (以上(財)兵庫県人権啓発協会)</p> <p>マインドコントロールを利用した事件等に関する資料・ビデオ等 (警察庁「振り込め詐欺にご用心!」 http://www.gov-online.go.jp/pickup/2006_02/pickup_movie.html)</p> <p>正しい情報と判断力を持つ。 ストレスマネジメントの学習 心と身体のセルフコントロール法を体験する。 自殺について 自殺の実態について知る。 自殺のサインに気づいた時の対処法について考える。 「自殺は許されないものである」ということを実感する。 どんな相談機関があるかを知る。 自殺予防対策支援ページ「いきる」を活用する。 (国立精神・神経センター精神保健研究所 http://www.ncnp-k.go.jp/ikiru-hp/) 『青少年のための自殺予防マニュアル』(金剛出版)を活用する。 ゲストティーチャーの話 自然災害の被災者や犯罪、DVの被害者、「いのちの電話」の関係者等の話を聞く。 戦争体験者の話を聞く。 『明日に生きる』(兵庫県教委)の活用</p>	